

# 白井では...

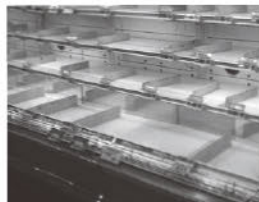
ガソリンスタンドは長蛇の列で、1時間も待って順番がやっと回ってきたかと思いきや、レギュラーは売り切れで、ハイオクしかありませんとのこと。車も乗れなくなってしまうのかな？とこの時は思いましたが、17日から次々と製油所が再開され、国内供給量には戻りつつあります。(16日付朝日新聞より)



計画停電のため、市役所、スーパーなどの商店も思わぬ時間に閉めてしまうという予告もあり、人々の会話は情報交換中心。生活に必要な情報はとてもありがたいものです。



壊れてしまったコンクリート塀(上)と、全て空っぽの陳列棚(下)



スーパー、ホームセンターのレジは全開。カゴの中に何日分(?)の食糧、日用雑貨と思われるほどのまとめ買いをしている人の行列で、商品の棚にはほとんど何も無いと言った具合です。今や、電池、ろうそくを探すのは至難のわざ。オイルショックでトイレットペーパーを争奪選のように買い求めたのを思い出しましたが、必要以上の買いだめは控えたいものです。

竹内 陽子  
後援会

白井市けやき台 2-1-4-603  
TEL&FAX 047-492-1563  
mail yoko461@iq.main.jp

ホームページは

竹内陽子 白井

## 号外

# 駅頭通信



この度の東日本で発生した大地震におきまして、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

3月11日2時46分、不気味な音とともに始まった突然の大きな揺れに不術もなく、早く治まってほしいと祈る気持は誰も同じだったと思います。私は知人宅を訪問し、インターホンを鳴らすやいなやの出来事でした。数人で空き地に避難しましたが、電柱も倒れそうな状況では、どうすれば良いのだろうと思うばかりでしゃがみ込んでしまったというのが現実でした。その後の余震に注意しつつ状況を一部見て回りましたが、団地内ではヘルメットをかぶり外へ出ている方々も沢山いらっしゃいました。家の中は物が落ちたり、ガラスが割れたり、冷蔵庫が開いたりとお話を伺いましたが、東北の方々の被災をニュースなどで見聞きする度心が痛みます。今こそ全国民が力を合わせ、一刻でも早い復旧に向けて進みましょう。

竹内 陽子

2011. 臨時号

〈討議資料〉